

みんなのた場

サフル 仲間

郷土の成り立ち探究
みんなで意見を交換

雄勝歴史研究会

豊かな自然に恵まれ、重要無形民俗文化財・雄勝法印神楽など、いにしえの歴史を現代に伝える雄勝地区。その歴史を探究しようと平成27年に結成しました。

震災で多くの古文書、歴史文書を失った中、郷土の歴史を見詰め直そうと住民や出身者、さらには雄勝地区に関心を寄せる学識経験者などが参加しています。現在は会員24人が月1回のペースで復興まちづくり

情報交流館・雄勝館に集い、その時々テーマについて研究成果の発表や意見交換をします。

7月28日の集いでは、江戸後期から明治初期にかけて海産物の交易で財を成した大須浜の阿部源左衛門について、優れた商人だったと同時に天保年間の飢饉時に私財の森林を売り払い、窮民を救うなどした篤志家としての側面について学びました。

船主として知られる名振浜の永沼家、ユズリハやタブノキなどが生育し暖地性植物群落の北限として国の天然記念物に指定されている八景島、サン・ファン・パウティスタ号の造船地という説がある呉壺などを取り上げてきました。

会員は20代～80代の老若男女で、お互い対等な立場から議論を進めたいと、あえて会長や代表は置いていません。

会員の阿部忍さん(78)は「震災を乗り越え、この素晴らしい古里の歴史を後世に伝えていきたい」と研究に励み、他の会員の知見にも耳を傾けているといいます。

雄勝地区の歴史をたどり、知ることで復興への歩みを強めたい。それが会員共通の願いです。



研究の成果を発表



持ち寄った資料で論考を重ねる会員

高橋まきよさんは大正7年7月15日、旧河北町中野に8人兄弟の長女として生まれました。

幼少期から家事手伝いに精を出し、農産物の行商をするなどして、代金の受け取りを素早くできるようにと、算数を覚え、今でも暗算が得意だといいます。以前から「趣味は商売」というのが口癖で、額に汗して働いた当時の思い出を大事にしています。

同じ旧河北町内の農家に嫁いだ後は、子ども4人、孫11人、ひ孫16人に恵まれました。現在は長男の利一郎さん(76)と同居。孫とひ孫を含め4世代8人の同居生活を続けています。

食欲が旺盛で、好物は餅とラーメン。特にラーメンは毎日食べます。スープの香りが好きで、心身とも健康で過ごすために欠かせない日課です。

高橋まきよさん 100歳(相野谷)

体を動かすのも大好きで、数年前まではゲートボールをしたり、老人クラブの仲間とカラオケを歌ったりしていました。今でも家の中では足腰が衰えないようなるべく歩くようにしています。

ひ孫と過ごす時間を大切にしており、いつも以上の笑顔を見せています。



食育推進 コーナー

《中学生のためのお魚料理教室》

毎年、市内の中学生を対象に、石巻魚市場で水揚げされた魚介類を使って「中学生のためのお魚料理教室」を実施しています。各地区の食生活改善推進員連絡協議会のサポートのもと、魚のさばき方を学びます。魚の美味しさや栄養、石巻の水産業を知る機会となっています。

昨年度は冬の代表的な食材であるタラを使って、万石浦中学校、河北中学校のそれぞれ2学年2クラスでお魚料理教室を実施しました。

今年度も地元でとれた魚介を使って、「中学生のためのお魚料理教室」を実施します。

水産課(内線3515)



石巻市立桜坂高等学校 桜坂だより 第2号

市役所プロジェクト

こんにちは。桜坂高校です。

今回のテーマは、7月に実施した市役所プロジェクトについてです。

桜坂高校では、総合的な学習の時間を「桜坂タイム」と称して、「高校生から、素敵な女性」になるための授業を行っています。1年生は、まちなかポスタープロジェクト、2年生はさくらプロジェクトとして、地域の商店街や事業所へ出掛け、直接お話を聞いたり、職場体験をしたりしながら、学んだことの成果を商店や事業所の代表の方々の前で発表します。

市役所プロジェクトは3年生が行うものです。18歳から選挙権を持つようになり、政治が私たちの生活にどのように関わっているのかを知るために、市役所の方々の協力をいただきながら、議会や選挙について学んだり、介護サービスで働く人の人材確保についてなど、市から出された課題に対して、私たちの意見を述べたり、まちづくりについて提案をします。

今年は、7月に市役所を訪問しました。議場では、議員席の椅子に座らせてもらい、議員の方から議会の意義を学ぶことができました。

また、職員の方からは選挙について分かりやすく教えていただきました。

議場へ伺ったグループとは別に、新しくできた防災センターでは、課題についてのワークショップを行いました。

このワークショップのために、5月から準備をしました。課題に対する解決策の見つけ方や、ワークショップの進め方などを先生方からアドバイスをもらいながら、答えを「アイデアカード」という形にまとめました。

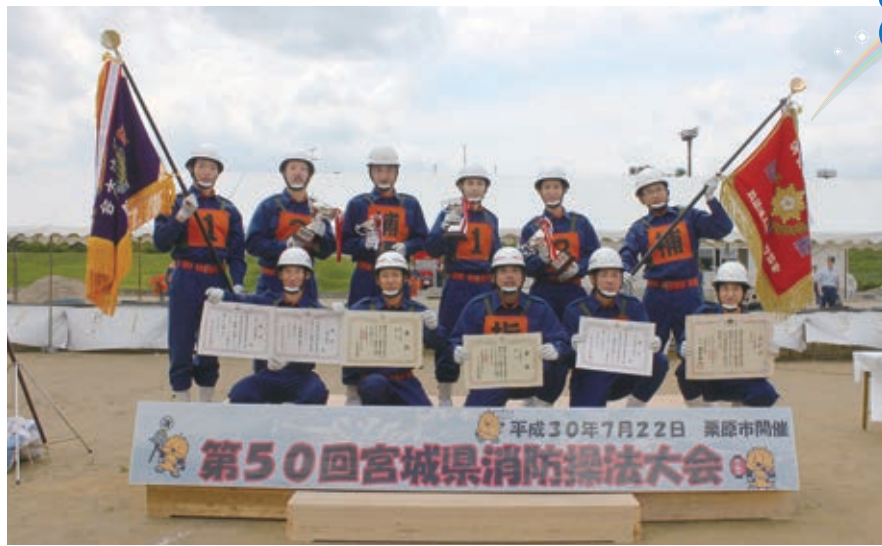
今まで市でどんな事業をしているのか調べることはありませんでした。しかし、各課からの課題を考えるにあたり、元々の事業を調べるなど、市について知るきっかけとなり、私たち高校生が地元である市のために何ができるかを考える良い経験となりました。発表の後は、パソコンを使って報告書を作成し、提出します。

職員の方からは、意見交換ができてよかった、この取り組みをこれからも続けてほしいといった感想をいただきました。



7/22 桃生 小型ポンプ操法で全国大会へ

消防団、県大会優勝



Topic of town まちの話題



市消防団桃生地区団は7月22日、栗原市であった県大会のポンプ車操法、小型ポンプ操法の2種目で優勝しました。このうち小型ポンプは10月19日に富山県で開かれる全国大会に出場します。隔年である全国大会には2014年以来2大会ぶり。16年には牡鹿地区団が出場しており、市消防団としては3大会連続の快挙。14年の9位入賞以上を目指し、訓練に励んでいます。

8/8 河北 ずんだ餅作り「楽しい」

大学生と住民が交流

「川の上・百俵館」で8月8日、ずんだ餅作りを通して地域住民と中央大、杏林大の学生が交流しました。石巻地方でボランティア経験のある学生20人が農家の指導で枝豆をゆで上げ、すりつぶすなどの作業をしました。餅作りを楽しむ傍ら、近所の子どもたちとも触れ合い「アニメの話で弾んだ」と都会では味わえない体験を喜んでいました。



7/25 石巻 最後飾るリボンおどり

「リボンまつり」盛り上げ

震災からの再生を願い、牡鹿半島を中心に来年開かれるアートと音楽と食の総合祭「Reborn-Art Festival 2019」のプレイベントが9月2日に最終日を迎えます。8月4日に開幕したプレイベント「TRANSIT! Reborn-Art 2018」の最後を飾る「リボンおどり」の練習会を、7月25日に石巻商工会議所で行われました。リボンおどりの振り付けを担当した「コンドルズ」のオクダサトシさんから直接指導を受け、楽しい振り付けを覚えました。



7/29 河南 17周年の愛顧に感謝セール

直売所「やさいっ娘」

農産物直売所「やさいっ娘」で、開店17周年大感謝セールが7月29日に行われ、大勢の買い物客でにぎわいました。地元農家が育てた新鮮な野菜や農家手作りの漬物、お総菜、季節の花々といった旬の農産物などを安価販売しました。お楽しみイベントでは、抽選会や牛肉の特売をはじめ、麦とろ麺の試食、かき氷やコーヒーの無料サービスなどがあり、短時間で売り切れの品も続出しました。



7/15 雄勝 眺望楽しみ 里山を縦走

海の幸トレイルランニング

リアスの海・山の美しい自然と食を楽しむ「第7回三陸・雄勝 海の幸トレイルランニング」(実行委員会主催)が7月15日に行われました。全国から集まった194人が大浜の葉山神社をスタート、石峰山や硯上山を尾根伝いに縦走し、波板海岸まで約23kmのファンランニングに挑みました。ゴール後はシーフード焼きそばやかき汁など雄勝の海の幸を味わい、今回が最後となる大会を締めくくりました。



8/5 牡鹿 捕鯨文化伝え、肉100円振る舞い

鯨まつり

捕鯨のまち・鮎川の文化を伝える「鯨まつり」が8月5日、牡鹿公民館跡地で開かれました。大原小児童による「大原ソーラン」や鮎川小児童の「銀鱗太鼓」などが披露され、金華山龍踊り奉納もありました。飲食ブースでは鯨肉のしょうゆ漬けとみそ漬けの炭火焼き合わせて100円が無料で振る舞われました。



7/18 北上 シニア生き生き スポーツ交流

2種目で心地良い汗

北上公民館主催の北上地区シニアスポーツ交流大会が7月18日、にっこりサンパークで開かれました。競技はグラウンドゴルフとペタンクの2種目で、グラウンドゴルフには17人、ペタンクには5チーム(14人)が参加しました。選手たちは真剣にプレーをしながらも、会話を楽しみながら和気あいあいとした雰囲気の中で、心地良い汗を流しました。

